

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1年	2単位	必修
担当教員			
牟田 美信			

講義概要	<p>1st Quarter、2nd Quarterに計画準備を行い、3rd Quarterで体験した、留学・インターンシップ・サービスラーニングに関して、個人、グループでまとめ、プレゼンテーションを作成し、発表を行う。</p> <p>(プレゼンに盛り込む主な内容)</p> <p>留学・インターンシップ・サービスラーニング各活動において、</p> <p>①「何のために参加したのか」</p> <p>②「成果・学んだこと」</p> <p>③「ギャップタームの経験をどのように将来生かして行くか」</p>
授業計画	<p>11/24 ギャップイヤー振り返り 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入</p> <p>11/24 ギャップイヤー振り返り 「インターンシップ・留学・サービスラーニング振り返りシート」、「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入</p> <p>12/1 ギャップイヤー振り返り 「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入、ギャップイヤーでの経験を言語化する1(プレゼン準備・ポスター等の作成)</p> <p>12/1 ギャップイヤー振り返り 「振り返りアンケート」(ギャップイヤー事後、社会人基礎力、目標達成度)等の記入、ギャップイヤーでの経験を言語化する1(プレゼン準備・ポスター等の作成)</p> <p>12/8 体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する(プレゼン準備・ポスター等の作成)</p> <p>12/8 就職セミナー 「就職における適性、志望動機、エントリーシートについて」(講師：フレッシュワーク佐世保)</p> <p>12/15 体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する(プレゼン準備・ポスター等の作成)</p> <p>12/15 体験の言語化 ギャップタームでの経験を言語化する1(プレゼン準備・ポスター等の作成)</p> <p>1/12 体験の言語化 プレゼンテーション実践リハーサル</p> <p>1/12 体験の言語化 プレゼンテーション実践リハーサル</p> <p>1/19 体験の言語化⑦ プレゼンテーション実践リハーサル</p> <p>1/19 体験の言語化⑧ ポスタープレゼンの実施1 ?? 2年生にも評価してもらう。</p> <p>1/26 ポスタープレゼン ポスタープレゼンの実施1 ?? 2年生にも評価してもらう。</p> <p>1/26 ポスタープレゼン ② 振り返り3分スピーチ 原稿作成・写真送信</p> <p>2/2 振り返りスピーチ&評価 振り返り3分スピーチ&評価+アンケート(クォーター制・学外学修体験について)</p> <p>2/2 振り返りスピーチ&評価 振り返り3分スピーチ&評価+アンケート(クォーター制・学外学修体験について)</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①ギャップイヤーの活動において、自らで立てた目標を達成することができる。</p> <p>②ギャップイヤーの活動において、さらに新しい知識情報を得ることができる。</p> <p>③ギャップイヤーの活動において、起こったリスクに関しても正しく分析・理解し、解決することができる。</p> <p>④ギャップイヤーの活動において、活動計画に沿って問題なく実施することができる。</p> <p>⑤ギャップイヤーの活動において、評価システムに沿って評価することができる。</p> <p>授業中に行う「ポスター等の資料作成(50%)」、「プレゼンテーション(50%)」で総合的に評価を行う。</p> <p>ポスター等の資料作成(50%)、プレゼンテーション(50%)</p>

教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	経験してことを具体的に文章化やプレゼンテーションを行うことで、確実なものとなるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日（14:50-18:00） *その他、空きコマ（研究室ドア掲示）も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように日頃からメモをとるようにしてください。